



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社アイズ

上場取引所 東

コード番号 5242 URL <https://www.eyez.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 範幸

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門 管理部門長 (氏名) 平福 基 TEL 03-6419-8505

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	788	4.6	18	△73.3	23	△66.0	15	△65.1
2023年12月期第3四半期	754	18.4	70	△47.4	69	△47.0	43	△50.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	14.98	14.24
2023年12月期第3四半期	43.33	40.64

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	911	652	71.5
2023年12月期	926	634	68.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 652百万円 2023年12月期 634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,062	4.2	20	△48.7	21	△50.3	14	△45.7	14.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	1,016,440株	2023年12月期	1,010,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	173株	2023年12月期	65株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	1,013,516株	2023年12月期3Q	1,004,226株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間における日本経済は、円安に伴う物価上昇等の影響があるものの、インバウンド需要の増加、所得環境の改善による個人消費の増加、各種政策等の効果もあり、経済活動の正常化が進んでおります。しかしながら、海外の金融政策による影響や、供給面での制約、金融資本市場の変動による影響等、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方で、日本の広告市場は、2024年は昨対比で2.5%の成長、2025年は昨対比で3.6%の成長と今後も市場の拡大が継続すると予測されております。また、広告費全体において当社のサービスが属するデジタル広告の割合は45.8%を占めております。(出典：株式会社 電通グループ「世界の広告費成長率予測(2023~2026)」2023年12月13日)

このような環境の中、当社の広告業界のプラットフォーム「メディアレーダー」の需要は引き続き拡大傾向にあり、堅調な成長を続けております。なお、当社の事業は、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

サービス別の主な取り組みについては下記の通りとなります。

(メディアレーダー)

メディアレーダーに訪れたユーザーの行動を解析し、その結果に合わせて表示するコンテンツを最適化しました。これにより課金対象となる資料のダウンロード数が増加し、主要KPIである資料リード売上の向上に貢献しました。

サービス向上を目的に、2024年2月1日より個別リードの最低単価について、@2,000円から@3,000円へと価格改定(注1)を行いました。また、資料リードの提供方法別に単価設定を可能としました。この料金体系の変更に伴い、主要KPIの平均資料リード単価(注2)は価格改定以降右肩上がりである成長しております。

イベント売上(注3)の拡大を目的とした「スポンサー獲得」、「登壇企業獲得」、「イベント申し込み獲得」を引き続き進めてまいりました。その結果、セミナーイベントの受注や集客状況は順調に推移し、イベント売上は第3四半期累計ベースで過去最高売上を更新し、メディアレーダーの成長を牽引しております。

メディアレーダーの会員獲得を図るため、マーケティング事業を展開する3社と業務提携を開始しました。広告宣伝費の先行投資による集客方法に依存せず、提携企業が保有するメディアからの集客も可能とすることで会員獲得の効率化や売上高の増加を図りました。

なお、広告宣伝費は主にメディアレーダーの会員獲得のために投資しており、広告手法としては、Googleのリスティング広告(注4)に投資することでROAS(注5)を確認しながら広告を運用しております。

その結果、当第3四半期累計期間のメディアレーダーの売上高は411百万円(前年同期比9.8%増)と第3四半期累計ベースで過去最高となりました。売上を構成する主要KPIの資料リード売上は335百万円(同8.0%増)、イベント売上は52百万円(同30.5%増)といずれも第3四半期累計ベースで過去最高となりました。

(トラミー)

売上の拡大を目的に「案件の獲得」、「案件単価の向上」を進めてまいりました。

主な取り組みの一つとして、メディアレーダーを活用したトラミーの見込み顧客獲得等、サービス間の連携について強化をいたしました。

またトラミーの主要顧客である化粧品メーカーに対する接点の増加及びマーケティングソリューションの拡充のため、コスメ・美容のクチコミサイト「COSMEbi(コスメビ)」の買収をいたしました。買収後も引き続き、世の中のコスメ・美容の情報を探している全ての方に価値のある情報を届けることはもちろん、顧客に対するマーケティングソリューションとして更なる価値を提供するために、サイトの活性化やトラミーとの連携に取り組んでおります。

その結果、第1四半期でのステルスマーケティングの規制による広告主の出稿控えの影響はあるものの、第2四半期及び第3四半期は売上高が前年同期比を上回る結果となり、当第3四半期累計期間のトラミーの売上高は314百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高788,710千円(前年同期比4.6%増)、売上総利益719,656千円(同4.1%増)、営業利益18,778千円(同73.3%減)、経常利益23,547千円(同66.0%減)、純利益15,178千円(同65.1%減)となりました。

なお、当社はプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(注1) 価格改定後、個別リード単価@3,000円~@15,000円、一括リード単価@2,000円~@15,000円

(注2) 個別及び一括資料ダウンロードによる平均のリード単価

(注3) メディアレーダーが主体となり、開催されるオンラインセミナーイベントで、スポンサー、登壇企業、視聴者(会員)を集めることで、スポンサー及び登壇企業に対してリード(見込み顧客情報)提供することによって得られる売上

(注4) Googleでキーワード検索した際に表示される広告

(注5) 広告の費用対効果のことで、Return On Advertising Spendの略語

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は911,481千円となり、前事業年度末に比べ15,044千円減少いたしました。

流動資産は779,024千円となり、前事業年度末に比べ20,112千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が7,358千円増加した一方で、売掛金が17,047千円、未収還付法人税等が10,027千円減少したこと等によるものです。

固定資産は132,457千円となり、前事業年度末に比べ5,067千円増加いたしました。これは主に、減価償却により有形固定資産が3,191千円減少した一方で、繰延税金資産が5,891千円、ソフトウェアが2,873千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は259,325千円となり、前事業年度末に比べ32,673千円減少いたしました。

これは主に、賞与引当金が15,504千円、未払法人税等が10,617千円増加した一方で、未払金が52,682千円、買掛金が4,643千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は652,156千円となり、前事業年度末に比べ17,628千円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が15,178千円増加したこと及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,340千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は71.5%（前事業年度末は68.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	560,102	567,460
受取手形	1,074	1,615
売掛金	195,011	177,963
仕掛品	1,358	1,736
貯蔵品	24	16
前払費用	21,472	25,380
立替金	12,943	9,425
未収還付法人税等	10,027	-
その他	2,121	182
貸倒引当金	△4,998	△4,755
流動資産合計	799,136	779,024
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	43,713	43,713
減価償却累計額	△5,165	△7,374
建物附属設備 (純額)	38,547	36,339
工具、器具及び備品	10,536	10,790
減価償却累計額	△5,445	△6,682
工具、器具及び備品 (純額)	5,091	4,108
有形固定資産合計	43,638	40,447
無形固定資産		
商標権	1,649	1,492
ソフトウェア	807	3,680
無形固定資産合計	2,456	5,173
投資その他の資産		
長期前払費用	1,636	1,287
繰延税金資産	6,206	12,098
長期預金	※ 1,000	※ 1,000
敷金	72,451	72,451
投資その他の資産合計	81,293	86,836
固定資産合計	127,389	132,457
資産合計	926,526	911,481

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,814	119,170
未払金	119,091	66,409
未払費用	11,333	6,782
未払法人税等	-	10,617
未払消費税等	14,190	17,273
前受金	1,782	6,072
預り金	5,899	1,537
賞与引当金	-	15,504
流動負債合計	276,112	243,368
固定負債		
資産除去債務	15,886	15,956
固定負債合計	15,886	15,956
負債合計	291,998	259,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	218,238	219,579
資本剰余金	210,238	211,579
利益剰余金	206,303	221,482
自己株式	△253	△485
株主資本合計	634,527	652,156
純資産合計	634,527	652,156
負債純資産合計	926,526	911,481

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	754,080	788,710
売上原価	62,914	69,053
売上総利益	691,165	719,656
販売費及び一般管理費	620,946	700,877
営業利益	70,219	18,778
営業外収益		
受取利息	5	65
受取補償金	-	3,391
助成金収入	-	1,443
ポイント失効戻入益	8	9
雑収入	-	86
営業外収益合計	13	4,996
営業外費用		
支払利息	264	228
株式公開費用	758	-
営業外費用合計	1,022	228
経常利益	69,210	23,547
税引前四半期純利益	69,210	23,547
法人税、住民税及び事業税	24,900	14,260
法人税等調整額	801	△5,891
法人税等合計	25,702	8,368
四半期純利益	43,508	15,178

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

※ 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
長期預金	1,000千円	1,000千円
契約するにあたり相手先から当該資産を担保に供することを求められたことによるものです。		

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	4,411千円	3,999千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。